

学校共催 ウォークラリー

〈令和7年5月28日(水)〉

【目的】

学校では体験することが難しい学習プログラムを企画・提案し、児童・生徒に多様な学習機会を提供するとともに、野外活動センターの新規体験プログラムの開発を目的として実施する。

【共催】

広島市立三入東小学校 5年生 23人

【プログラム内容】

10:00 競技説明 10:30 ウォークラリー 11:45 ふりかえり

▷小規模校のため、時間差スタートを5分に設定する。スタートするときは、大きな声でスタートした。CPと時間得点の総合計という説明を聞いていたので、ゴールする前に時間を考える班が多く、設定時間に近い班が多かった。そこで、時間を使ってCPの答えを考える班が多かった。

▷CPには、野外活動センターが用意した問題に、「ヤッホー」と声を出す問題があり、班でそろえる声は、大変大きく、響いていた。また、学校問題には、全校児童数や先生が高校時代にしていた運動など児童にとって身近な問題もあり、興味を持って問題を解いていた。

▷引率の先生が少ない中、児童の安全を配慮しながら配置を考え進めていた。